

個人投資家向け会社説明会資料

2020年2月



for your dream and happiness

証券コード: 7164

1

全国保証とは

2

中期経営計画

3

株主還元

4

参考情報

プロフィール

社名	全国保証株式会社（ZENKOKU HOSHIO Co., Ltd.）
設立	1981年2月
事業内容	住宅ローンを中心とする信用保証事業
保証債務残高	13兆4,435億円
店舗数	12店舗（本社・本支店・営業所）
従業員数	255名
上場市場・証券コード	東京証券取引所 市場第一部・7164 （JPX日経インデックス400構成銘柄）
本社所在地	東京都千代田区大手町2-1-1 大手町野村ビル
資本金	107億03百万円

※2019年12月31日現在

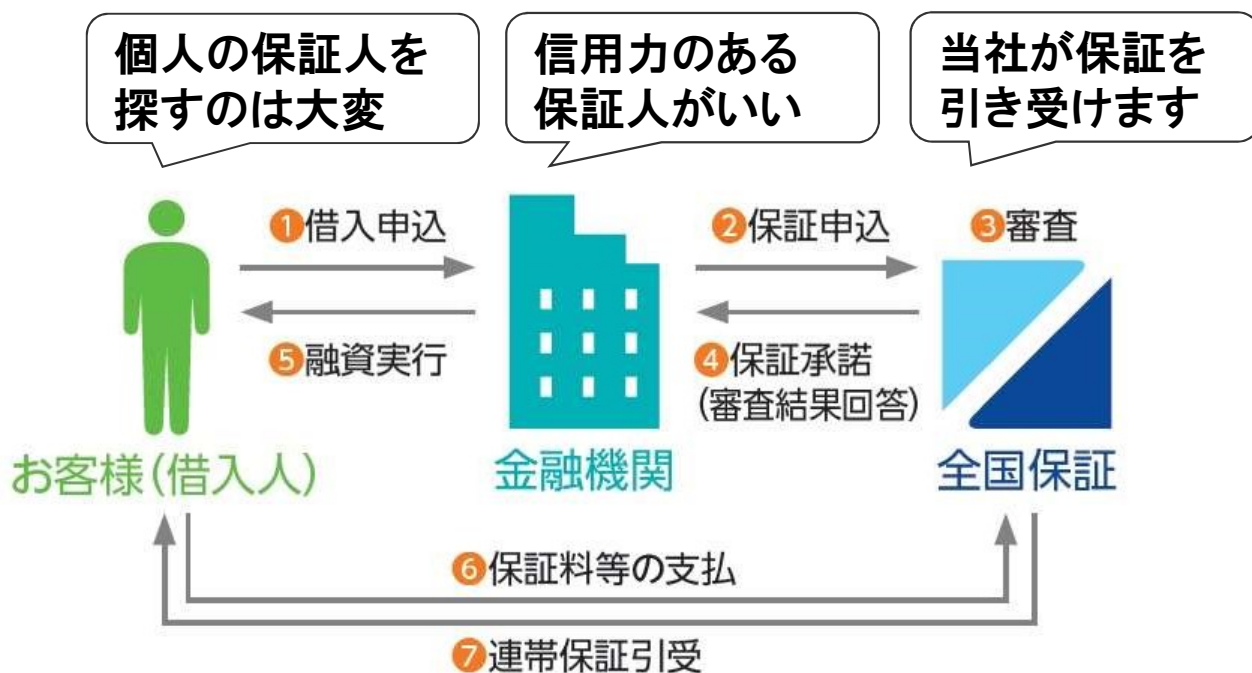
経営理念

全国保証は、機関保証を必要とする全てのお客様に
最高の保証商品とサービスを提供することにより、
「お客様の夢と幸せの実現」をお手伝いするとともに、
信用保証事業を通じて地域社会の発展に貢献いたします。

全国保証の役割と保証引受までの流れ

- 全国保証は住宅ローンの連帯保証を個人に代わって引き受ける会社
- 住宅ローンの金額や期間に応じた保証料をお客様(借入人)より受領

■ 保証引受までの流れ



■ 全国保証を利用すると

- お客様(借入人)は借入手続きがスムーズに
 - 金融機関は当社が保証することで安心して融資が可能
- ↓
- お客様と金融機関の双方にメリットのあるサービスを提供

当社の特徴・強み① 独立系の保証会社

金融機関

保証会社

特徴



親会社や出資元など
特定の金融機関のみ提携

99組合
95.2%

信用組合

246金庫
95.7%

信用金庫

銀行

提携数 93行
提携率 86.1%

労働金庫
JF・その他

28機関

JA

275機関
45.4%

独立系



全国保証は独立系であり
様々な金融機関と提携可能

提携金融機関数 (2019年12月末)

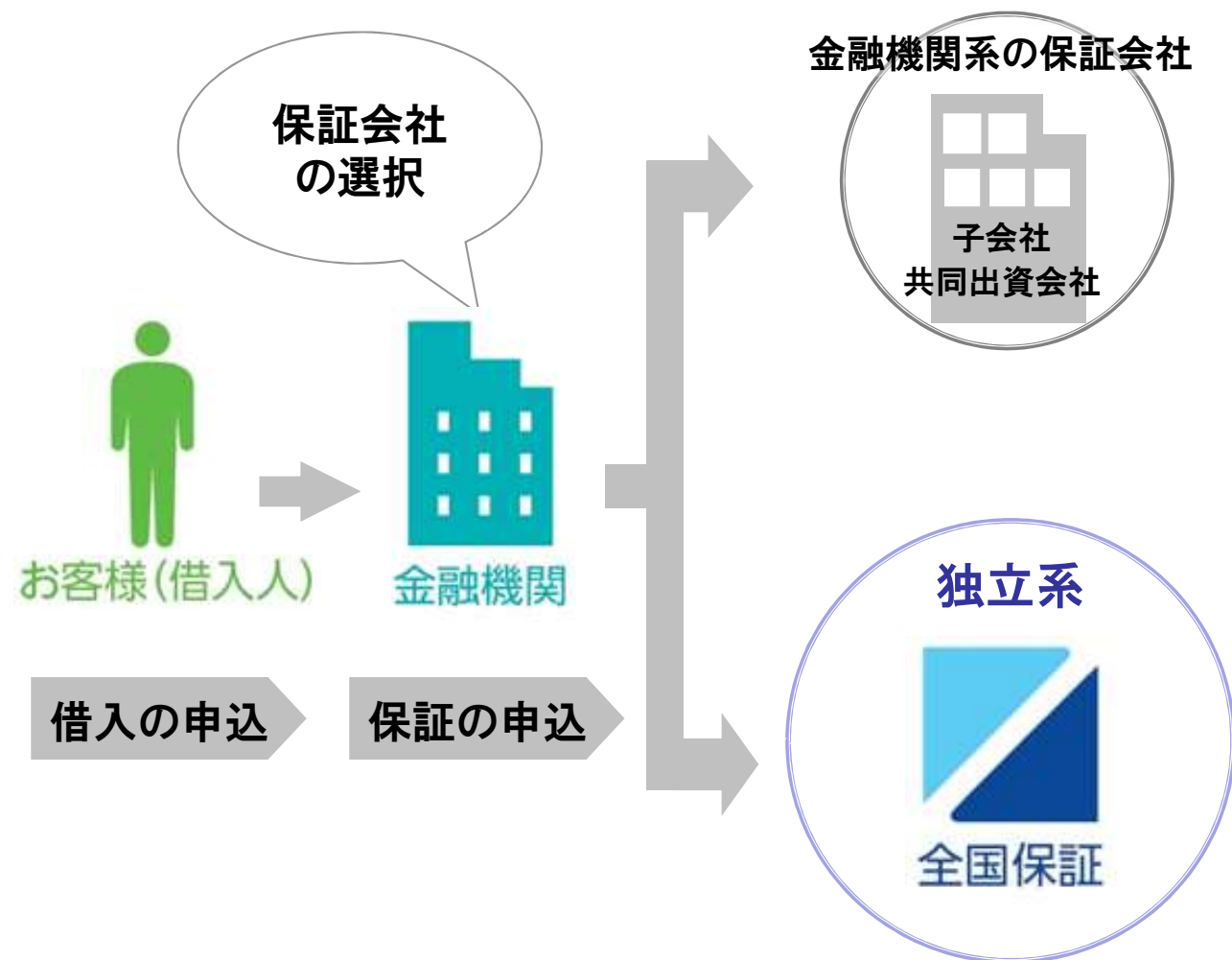
7 4 1 機関

全国保証株式会社

for your dream and happiness

当社の特徴・強み② 金融機関のニーズに対応

■ 金融機関のさまざまなニーズに応えることが可能



金融機関のニーズ

- グループ内に残るリスクを分散したい
- 県外進出したいが地元の県以外の地域特性が不明でリスクの読み込みが困難
- 幅広い層に住宅ローンを推進したい
- 借入人や不動産業者に早く回答したい

全国保証を利用すると...

利用のメリット

- 外部保証によるリスク分散が可能
- 独自のノウハウで全国で対応可能
- リスクに応じた5段階の保証料体系で幅広い層に対応可能
- ノウハウ・データを活用したスピード回答

当社の特徴・強み③ 金融機関へのサポート

■ 顔の見える保証会社として、金融機関へのさまざまなサポートを実施



説明会・相談会

年間1,000回を超える商品説明会
住宅ローン案件相談会を開催

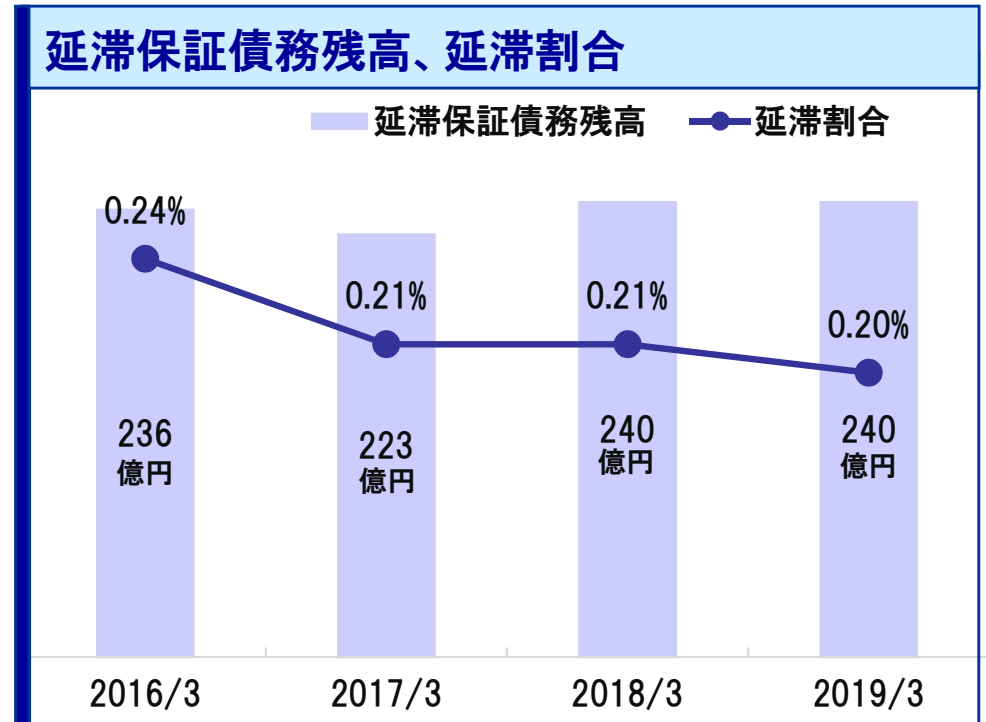
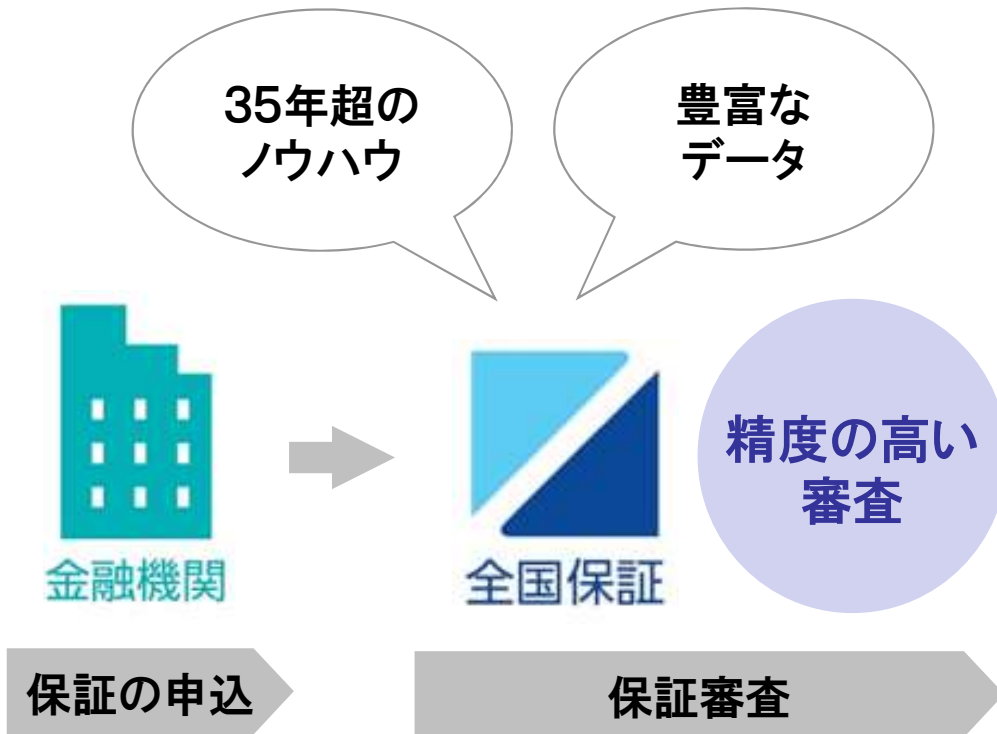


営業活動をサポート

営業サポートツールの作成や
キャンペーンの実施など
金融機関の営業活動をサポート

当社特徴・強み④ 精度の高い審査

- 35年超の審査ノウハウ、豊富なデータを活用し、迅速に保証の引受を判断
- 精度の高い審査を行ってきた結果、保証債務残高に占める延滞割合は低位



※延滞保証債務残高は3回以上延滞の保証債務残高を集計

代位弁済金額は低位に推移



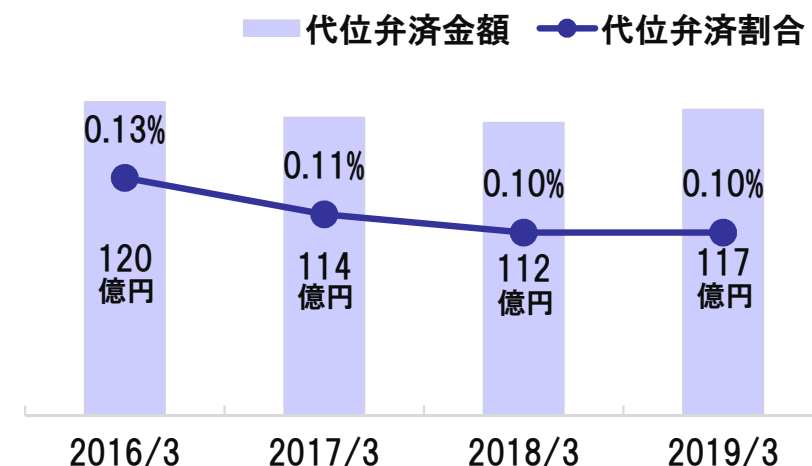
■代位弁済

返済が困難となったお客様に代わって
金融機関に残った借入金を支払います

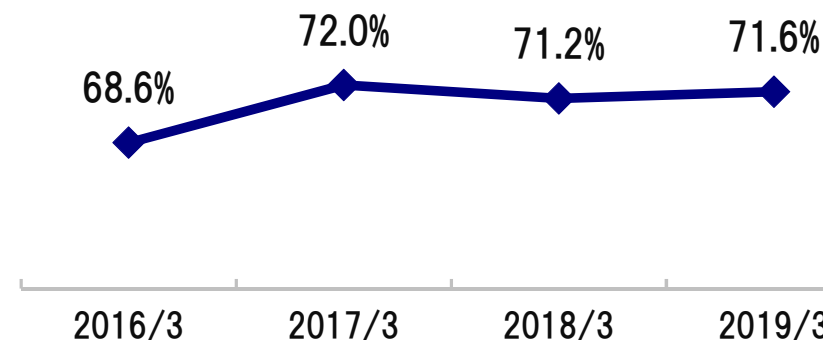
■回収

主に担保物件(住宅)の売却などにより
債務の返済に充てていただきます

代位弁済金額、代位弁済割合



担保物件売却による回収率※



※民間金融機関住宅ローン保証

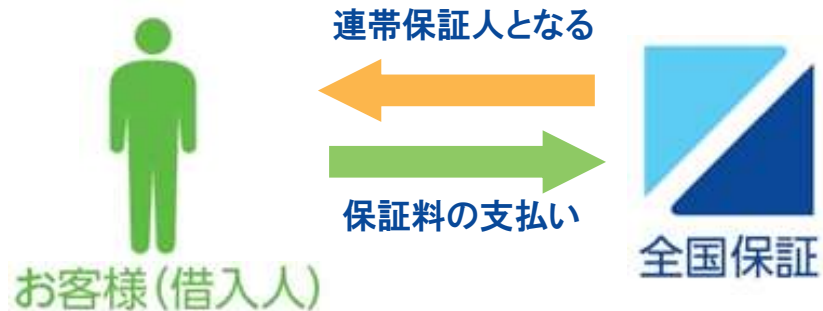
 全国保証株式会社

for your dream and happiness

基本的な収益構造

STEP.1

保証開始時に住宅ローン返済期間分の保証料を原則一括で受領



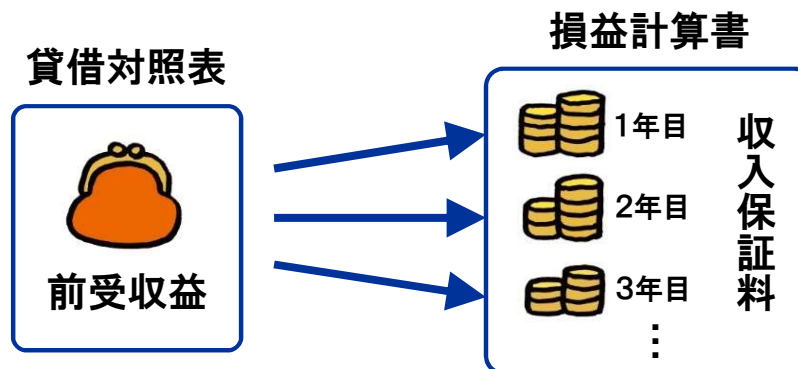
STEP.2

受け取った保証料はすぐに収益に計上せず、一旦全て貸借対照表の「前受収益」へ貯める



STEP.3

住宅ローン返済期間の各年において、保証した金額に対応する分だけ、少しずつ収益に計上



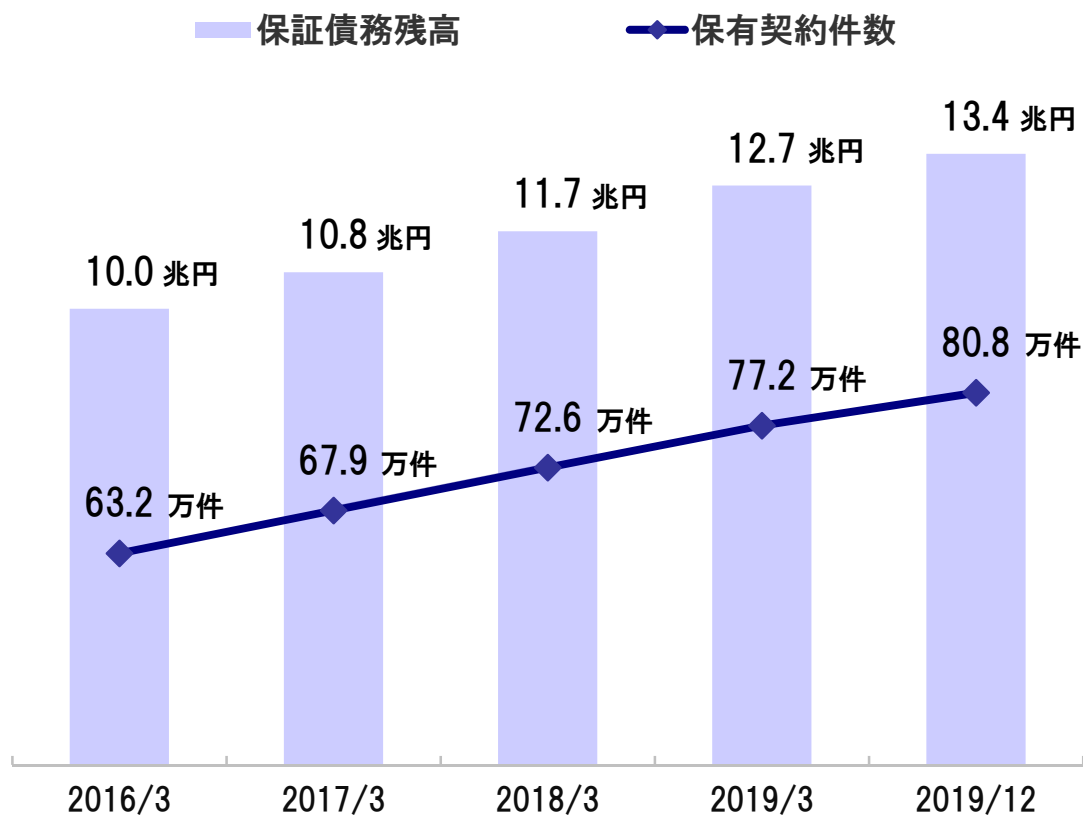
ポイント

保証債務残高を積み上げることが収益の拡大につながる

保証債務残高・保有契約件数は堅調に推移

■ 当社の特徴や強みにより、保証債務残高・保有契約件数は堅調に推移

保証債務残高および保有契約件数



保証債務残高 (2019年12月末)

13.4 兆円

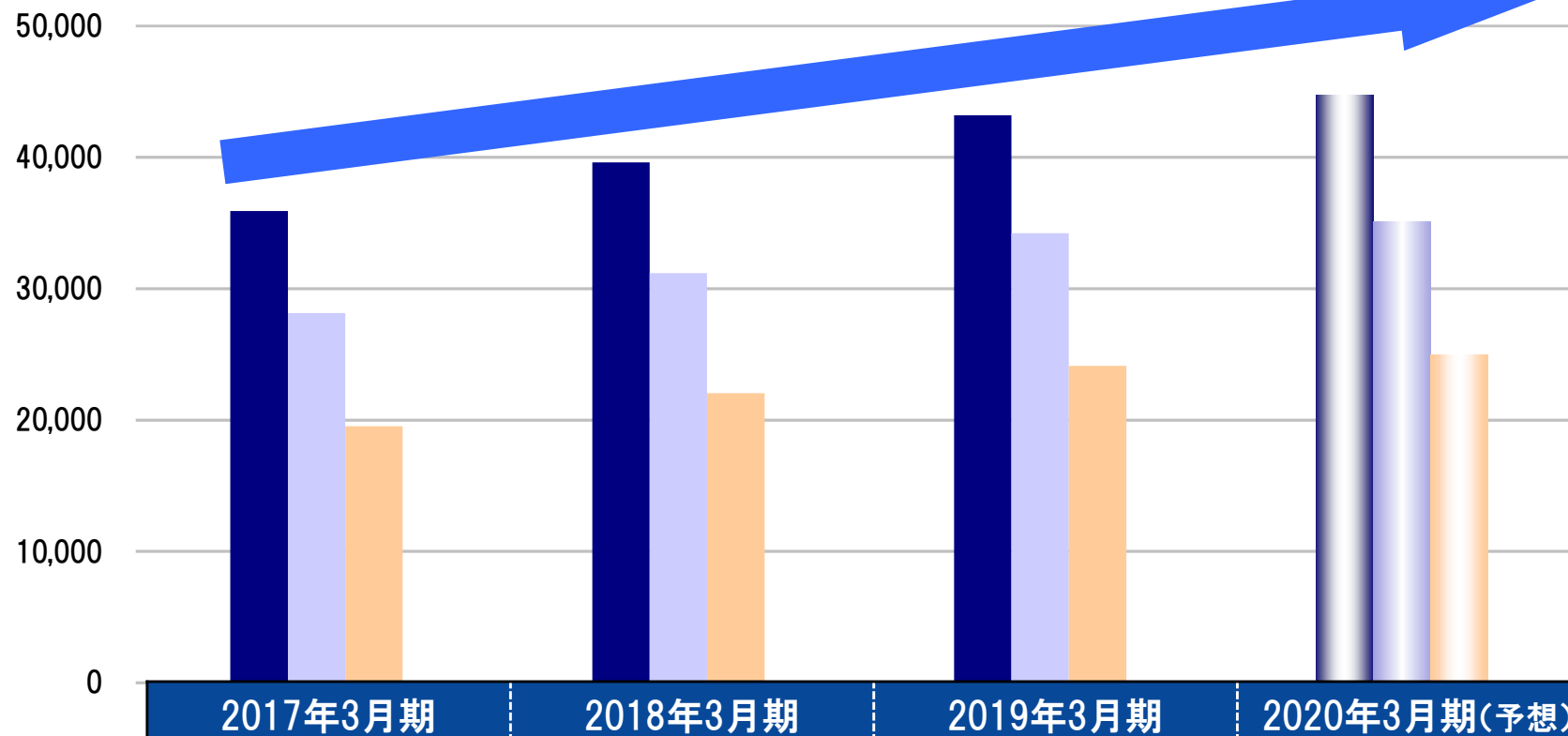
保有契約件数 (2019年12月末)

80.8 万件

業績推移

- 保証債務残高の堅調な伸長と代位弁済金額の低位な推移により、業績は順調に拡大

(単位:百万円)



	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期(予想)
営業収益(百万円)	35,918	39,599	43,204	44,700
営業利益(百万円)	28,139	31,179	34,229	35,100
当期純利益(百万円)	19,530	22,052	24,134	24,950

1

全国保証とは

2

中期経営計画

3

株主還元

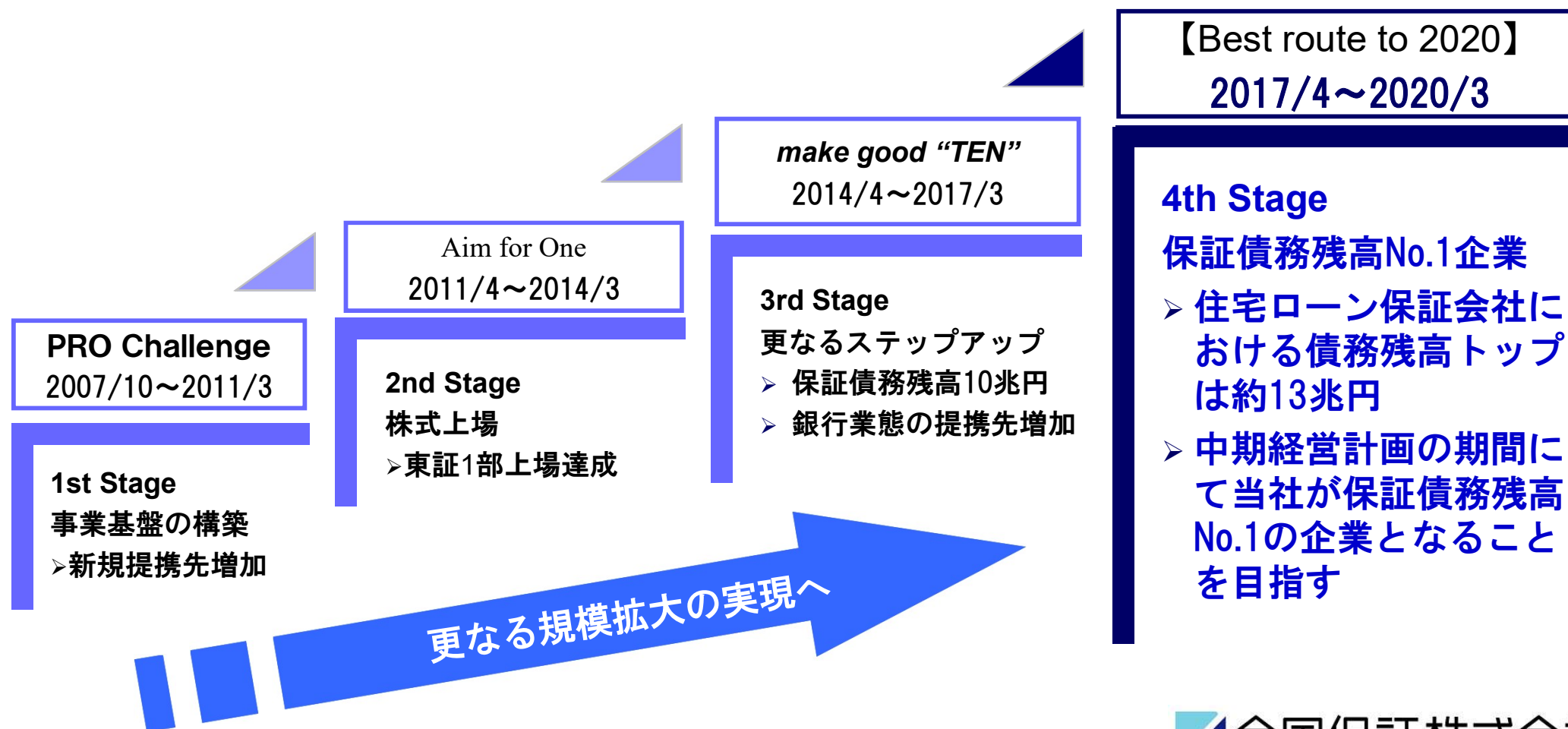
4

参考情報

中期経営計画(スローガン)

スローガン：住宅ローン保証事業におけるトップ地位確立

今までに築き上げてきた事業基盤とネットワークを最大限に活用することにより、地域社会の発展に貢献し、住宅ローン保証会社としてトップたる地位を築く。



中期経営計画達成に向けた基本方針

■ 中期経営計画を達成のため3つの基本方針を実施

①事業規模の拡大 (住宅ローン保証事業)

保証債務残高No.1企業へ
(2020年3月末13.5兆円)

②企業価値の向上

働き方改革の推進
内部統制システムの強化

③事業領域の拡大 (長期的課題)

親和性の高い事業への進出
提携金融機関とのネットワーク
ノウハウ・データの活用

事業規模の拡大(住宅ローン保証事業)

- 民間金融機関の住宅ローン残高は170兆円程度と市場は大きい
- さまざまな施策を実行し事業規模の拡大を目指す

民間残高



当社の市場シェアは

7 %

拡大の余地は十分にあります

※民間住宅ローン残高のシェアは住宅金融支援機構「業態別の住宅ローン新規貸出額及び貸出残高の推移」を基に算出

事業領域の拡大(長期的課題)

- 親和性の高い事業への進出
- 提携金融機関とのネットワークや当社の豊富なデータを活用

債権回収会社の子会社化

2018年12月 債権回収会社の子会社化を実施
2019年 9月 全国保証の債権管理・回収業務受託開始

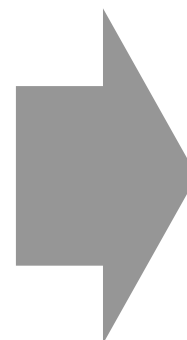
 あけぼの債権回収株式会社



他のサービサーへ売却していた
当社求償債権より収益確保
＋
741先の提携網を生かした
事業展開で成長可能

新しい審査手法の研究開始

2018年12月
スタートアップ企業と
AI・ブロックチェーンを活用した研究を開始



新しい審査の仕組み
＋
データを活用したサービス提供

1

全国保証とは

2

中期経営計画

3

株主還元

4

参考情報

株主還元の考え方

■ 安定的・継続的な配当を実施する方針

内部留保の必要性



全国保証

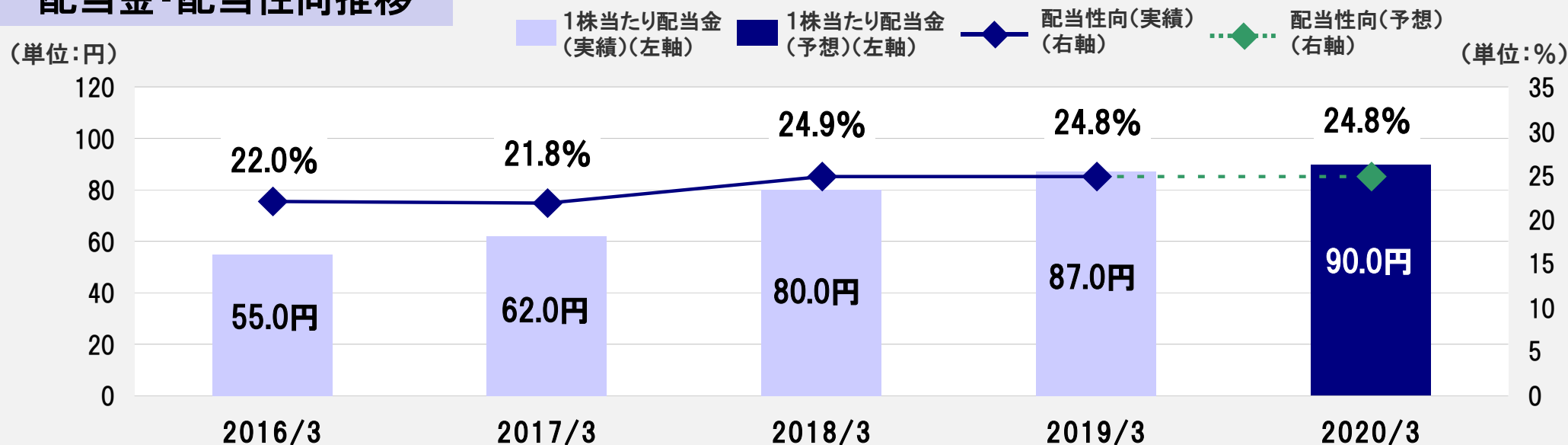
- 自己資本の充実による
強固な財務基盤の構築



金融機関

- 全国保証への信頼が増し、
安心して保証を任せられる
- 全国保証への保証申込の増加

配当金・配当性向推移



株主優待制度

- **継続保有期間に応じて、3,000円相当、又は5,000円相当の株主優待品を贈呈**

対象株主	✓ 毎年3月31日現在の株主名簿に記載された、 1単位(100株)以上保有の株主様
継続保有期間 1年未満	✓ 3,000円相当のクオカード
継続保有期間 1年以上	✓ 5,000円相当のクオカード、又は5,000円相当の 特産品等を掲載した商品カタログギフト

※継続保有期間の1年以上とは、株主名簿基準日(3月31日および9月30日)の株主名簿に、1単位(100株)以上の保有を同一株主番号で連続3回以上の記載、又は、記録されること

クオカード イメージ図



カタログギフト イメージ図



全国保証株式会社
for your dream and happiness

当社株式情報

関連情報

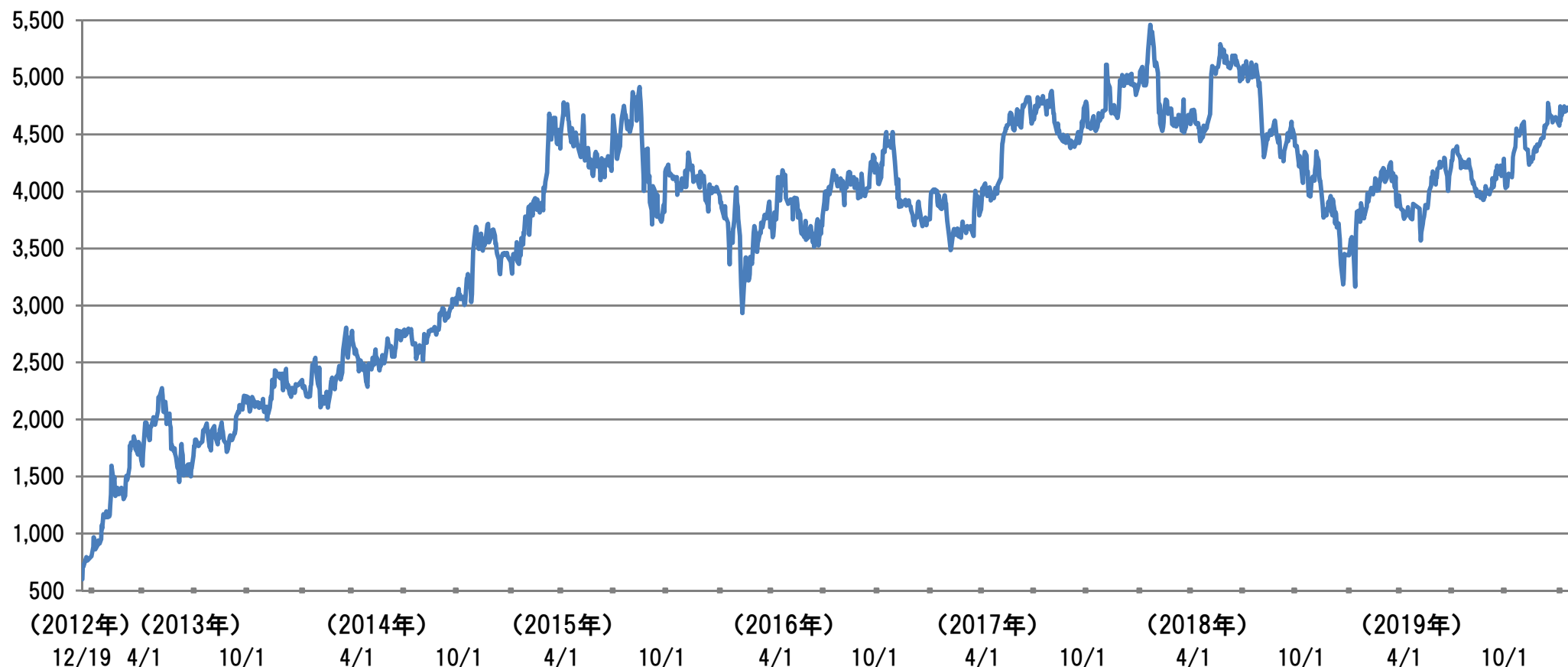
単元株式数:100株

発行済株式数:68,871,790株

決算期:3月

株価推移

(単位:円)



※2014年3月1日付にて実施した1:2の株式分割を遡及して反映した株価を基にグラフを作成

 全国保証株式会社

for your dream and happiness

1

全国保証とは

2

中期経営計画

3

株主還元

4

参考情報

2020年3月期 第3四半期決算サマリー(P/L)

(単位:百万円)

	19/3期 第3四半期	20/3期 第3四半期	前年 同期比
営業収益	24,568	26,581	8.2%
営業費用	6,316	7,205	14.1%
うち与信関連費用	1,842	2,183	18.5%
債務保証損失引当金繰入額	2,207	2,202	▲0.2%
貸倒引当金繰入額	▲364	▲19	▲94.7%
うちその他	4,473	5,021	12.3%
営業利益	18,252	19,376	6.2%
経常利益	18,942	20,292	7.1%
特別損益	▲284	▲29	▲89.8%
四半期純利益	12,924	14,029	8.6%

ポイント

●営業収益

保証債務残高が堅調に推移したことにより、営業収益は265億81百万円を計上。

●営業費用

営業費用は計画通り進捗し、72億5百万円を計上。

●特別損益

減損処理による投資有価証券評価損などにより、特別損失29百万円を計上。

●四半期純利益

上記の状況により、四半期純利益は140億29百万円を計上。

2020年3月期 第3四半期決算サマリー(B/S)

資産の部 (単位:百万円)			
	19/3期末	20/3期 第3四半期末	増減比
流動資産	188,741	160,270	▲15.1%
現金及び預金	175,742	146,494	▲16.6%
求償債権	12,266	14,513	18.3%
有価証券	6,334	5,829	▲8.0%
貸倒引当金	▲6,302	▲7,626	21.0%
固定資産	132,490	166,740	25.9%
投資その他の資産	131,671	165,896	26.0%
投資有価証券	107,649	138,558	28.7%
長期貸付金	-	2,928	-
長期預金	19,000	19,000	0.0%
資産合計	321,232	327,011	1.8%

負債の部 (単位:百万円)			
	19/3期末	20/3期 第3四半期末	増減比
流動負債	30,406	24,871	▲18.2%
前受収益	16,264	16,616	2.2%
債務保証損失引当金	6,453	6,289	▲2.5%
固定負債	163,826	167,269	2.1%
長期前受収益	163,767	167,205	2.1%
負債合計	194,233	192,141	▲1.1%
純資産の部			
株主資本	126,492	134,537	6.4%
評価・換算差額等	388	184	▲52.6%
純資産合計	126,998	134,869	6.2%
負債・純資産合計	321,232	327,011	1.8%

ポイント

- 資産
住宅ローン債権信託受益権(RMBS)を購入、長期貸付金として計上。
- 負債
保証債務残高の増加に伴い前受収益、長期前受収益が増加。

業績予想

(単位:百万円)

	19/3期	20/3	20/3期 通期予想	前期比
		第3四半期		
営業収益	43,204	26,581	44,700	3.5%
営業費用	8,975	7,205	9,600	7.0%
うち与信関連費用	2,727	2,183	2,900	6.3%
債務保証損失引当金繰入額	3,034	2,202	3,400	12.1%
貸倒引当金繰入額	▲307	▲19	▲500	62.9%
うちその他	6,248	5,021	6,700	7.2%
営業利益	34,229	19,376	35,100	2.5%
経常利益	35,169	20,292	36,100	2.6%
当期純利益	24,134	14,029	24,950	3.4%

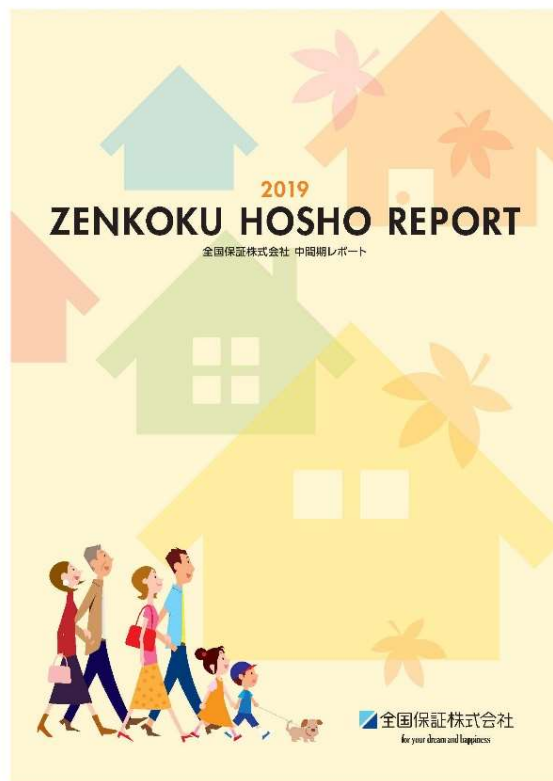
業績予想の前提	
保証債務残高	13兆5,370億円
新規保証実行件数	70,000件
代位弁済金額	12,650百万円
求償債権回収	9,500百万円

その他	
ROE	17.2%
配当金(1株当たり)	90円

当社ウェブサイトのご案内

- 本日はありがとうございました
当社ウェブサイトの投資家様向けのページも是非ごらんになってください

- ディスクロージャー誌



- 株主通信



- その他

投資家向け説明会
動画配信など

詳しい情報はウェブサイトへ

http://www.zenkoku.co.jp/ir/finance_data.html

全国保証

検索

免責条項および将来見通しに関する注意事項

免責事項

この資料は投資家の参考に資するため、全国保証株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2020年2月5日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提や当社独自の判断に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。